

まちづくり通知表							
検証者：中熊英昭さん(辺田見)・木村さつきさん(滝川)・高橋恵子さん(滝川) 渡邊俊一さん(滝尾)・増田安至さん(滝尾)・日野稔邦さん(佐賀県庁)							
宣言		施策	事業概要	事業名	町長	町民(※)	議会
1	健康いきいき御船町 !!	いつでも・どこでも・だれでも・いつまでもスポーツに親しむことができる御船町	地域での身近なスポーツ活動の場である「総合型スポーツクラブ」を核としながら地域スポーツの普及振興を図ります。	地域スポーツイベント・教室	30/100点	45/100点	60/100点
				スポーツクラブ・サークル			
				指導者の発掘・育成			
				地域町民スポーツ会議の設置			
				町民スポーツカレッジ(スポーツ学習会)			
				乳幼児の運動発達支援			
				ニュースポーツの開発			
2	地域のことは地域で決める御船町 !!	自分たちのルールは自分たちで決める御船町	「御船町みんなでつくる町の基本条例」(自治基本条例)を制定します。	自治基本条例の制定	24/100点	54/100点	－
3	地域ブランドの確立と地域ビジネスで経済的に豊かになる御船町 !!	光を活用することで地域経済に光を点(とも)す御船町	ブロードバンドを活用した地域密着型ポータルサイトを立ち上げ、地域情報を積極的に発信するための地域プロモーションを図ります。	御船町電子ショップの立ち上げ	40/100点	18/100点	52/100点
				住民の能力育成			
				学生を活用したPR制作			
				御船町サポーター町民の登録			
4	みんなで育む、笑顔と自然が響きあうロハス(健康・環境)なまち御船町 !!	知らせよう よか農業のまち御船町	御船町・グリーン・ツーリズム推進事業	滞在型・体験型の農業観光	49/100点	34/100点	55/100点
				学習型ツーリズム			
5	我がまちの子どもたちをみんなで育む御船町 !!	みんなで関わり・支え合う学校教育のまち御船町	地域住民が学校運営に参画できるよう「学校運営協議会」(コミュニティースクール)の設置に向け教育委員会に働きかけます。	学校運営協議会の設置	50/100点	32/100点	55/100点
				企画推進委員会の設置			
プラス 挑戦する御船町役場		他流試合をする御船町役場	「自治体間・異種業との交流」促進	他自治体、民間企業、NPO、大学、研究機関との交流	33/100点	54/100点	－

※「宣言2」と「プラス 挑戦する御船町役場」は外部検証



第6回御船町 マニフェスト まちづくり大会

意見を集める試みを行いました。

「御船町のマニフェスト型行政は、日本中から注目されている。今後、マニフェスト文化を全国へ発信してほしい」と、北川正恭早稲田大学大学院教授の「受難のマニフェスト」代議制民主政治を考える」をテーマにした講演で幕を開けた、第6回マニフェスト町づくり大会が、5月25日、町カルチャーセンターで開催されました。大会では、町民有志と役場職員で構成されているマニフェスト実行隊が評価検証チームを結成し、4カ月間にわたって検証を行った結果が公表されました。今回は中間検証として、山本孝二町長のマニフェストの大きな柱6宣言(各5施策)の中から1施策ずつ、計6施策を検証チームと外部検証員の佐賀県政策鑑グループの日野稔邦氏が、20代、40代の町民アンケートや4日クラブ、商工会青年部、七滝中央小PTAなどの若者が多い団体の意見を基に検証結果を報告しました。また、大会の様子をフェイスブックで配信し、全国から

「御船町のマニフェスト型行政は、日本中から注目されている。今後、マニフェスト文化を全国へ発信してほしい」と、北川正恭早稲田大学大学院教授の「受難のマニフェスト」代議制民主政治を考える」をテーマにした講演で幕を開けた、第6回マニフェスト町づくり大会が、5月25日、町カルチャーセンターで開催されました。大会では、町民有志と役場職員で構成されているマニフェスト実行隊が評価検証チームを結成し、4カ月間にわたって検証を行った結果が公表されました。今回は中間検証として、山本孝二町長のマニフェストの大きな柱6宣言(各5施策)の中から1施策ずつ、計6施策を検証チームと外部検証員の佐賀県政策鑑グループの日野稔邦氏が、20代、40代の町民アンケートや4日クラブ、商工会青年部、七滝中央小PTAなどの若者が多い団体の意見を基に検証結果を報告しました。また、大会の様子をフェイスブックで配信し、全国から



マニフェストの必要性について講演した北川教授

検証員が出したマニフェストの主な問題点と提案の一部

宣言1

発表者：中熊英昭さん(辺田見)

問題：全く運動していない人の割合は、平成23・24年度に行ったアンケートを比べると、20代から40代の運動していない割合が増えている。

提案：フネッピーすこやかスポーツクラブの教室の場所、時間帯、種目などが若者のニーズに合っていないため減少傾向にあると思われるので、若者がスポーツに親しむことができるような事業の実施や運営に取り組むことで増加が期待できる。

宣言3

発表者：木村さつきさん(滝川)

問題：「ホームページやフェイスブックを使って町の情報にふれる機会が増えた」という声が多く聞かれたが、イベント紹介など効果的な活用ができていない。あまり更新もされておらず、記述内容が硬い。

提案：動画を使った御船町の紹介などを増やし、ホームページを魅力的にする必要がある。また、町民サポーター特派員制度を作り、みんなで協力しながらアイデアを出す方法を考える。

宣言4

発表者：渡邊俊一さん(滝尾)

問題：町民アンケートで、水前寺菜「御船川」のPR不足と答えた人は6割。

熊本青年会議所でのアンケートでは、御船町の特産品について8割が「知らない」と回答しています。

提案：都市との交流体験が増えれば、御船の農業のPRに繋がると思います。町のフェイスブックに御船川レシピを定期的に載せ、郡内の主要スーパーには必ず御船川が置いてある状態を確立する。

宣言5

発表者：増田安至さん(滝尾)

問題：平成25年度から学校運営協議会の設置を予定しているが、ヒアリングでは地域住民への説明が遅く、現時点で理解している保護者は少ないと思われる。

提案：学校運営協議会について多くの保護者が知らないため、周知と理解を図り、勉強会を開く必要がある。

★詳しくは、役場一階の情報公開コーナーに置いてある大会資料をご覧ください。